

カナダの新年度予算案

インフレと失業対策が主眼

カナダのドナルド・マクドナルド大蔵大臣は、五月、一九七六年度の予算案を下院に提出した。予算案の骨子は、現在のインフレ対策のうち物価と利益に関する公正と効果を改善する措置、およびエネルギー節約および資源探査を奨励し中小企業を刺激する税法の改正を求めるほか、六月三十日に廃止する予定だった暫定関税削減のほとんどをあと一年間延長する——という

もの。
マクドナルド大蔵大臣は、この予算案について、インフレと失業問題への対処とインフレ対策を補強する財政金融政策を継続することを主

▼マクドナルド大蔵大臣



眼にした、と説明している。

また同大臣は、下院での演説の中で、今年の国民総生産（GNP）の成長率を約五パーセントと予測し、消費者物価の年間上昇率も八パーセントにおさまり、雇用状況も改善されると述べた。また外国為替取引を除く財政需要は、四十六億ドル台だった一九七五・七六年とそれほど変わらないが、七七・七八年には相当落ち込むものと予想している。

予算案の内容は要旨次の通り。

インフレ対策 物価・所得に関するインフレ対策の規則を改め、すべての企業が上昇コストだけでなく利益に対する値上げの影響をも考慮に入れた利幅基準を満たすよう義務づけ、政治献金を「制限支出」に加え、慈善寄附や認可済み研究

開発費をはずし、十月十五日付きで企業が年間配当金を八パーセント上げること

を認める。
失業保険法を改正して、給付を受ける資格を在職八週間から十二週間にのばし、給付期間を就職期間の長さに連結させ、また退職金が失業保険給付の受給資格に影響を与えないようにする。

関税 二つの例外を除き、六月三十日

に期限切れになる予定の暫定関税引下げを一年間延長する。豚鮮肉、ハム、ベーコン、マカロニなどの食料費を五月二十六日付けでリスト

に加えタイヤ、チェア、ハサミは六月三十日ではずす。

現在二・五パーセントの関税つきで英国とアイルランドから輸入しているコンプレッサと発電セットは、ただちに最優国民待遇レートで十五パーセントの関税がかけられるようにする。ただし、こうした機器がカナダ国内で求められない場合は、免税になる。

資源節約 産業廃棄物を燃料源として回収し、また都市廃棄物からエネルギーを産出する機器に対し、二年間の税控除を適用する。

エネルギー節約に役立つ太陽熱などの代替エネルギーの開発を奨励する物品から連邦取引高税を除外する。

資源課税 探査費用を完全免税にする立法措置をとる。

メダルは何個？

大会目指して励むカナダ選手

モントリオール・オリンピック大会では、それぞれ四百七十四個の金、銀、銅メダルが授与されるが、そのうち何個がカナダ選手の手

に渡るだろうか。
カナダは、一九〇四年のセント・ルイス大会で金メダル四個、銀メダル一個を獲得して以来（ただし、一九〇〇年大会で、米国チームのメンバ



▲ナンシー・ギアラビック(水泳)

ーとして参加したカナダ人が三千メートル障害で金メダル、四百メートル・ハードルで銅メダルを得ている、数々の栄誉に浴してきた。しかし、アムステルダム大会で男子百メートル、二百メートル両競走の金メダルを



奪ったバーシー・ウィリアムスなどのように、ときおり名選手が現われたもの全般的に言いつて、カナダ・チームの成績には波がありすぎた感も否めない。最近の成績をみると、ローマ大会では銀メダル一個、東京大会では金メダル一個（かじ無しペア）、銀メダル二個（男子八百メートル競走、重量級柔道）、銅メダル一個（男子八百メートル競走）、メキシコ大会で金一個、銀三個、銅一個（計五個のうち四個は水泳）、ミュンヘン大会

で銀二個、銅三個（うち四個は水泳）。

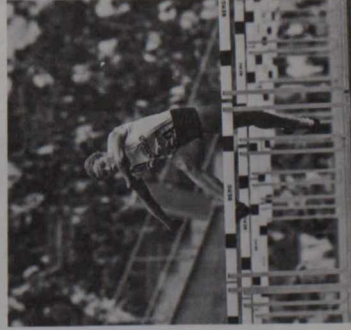
こうした、あまりかんばしくない成績を反省して、一九七三年、カナダのオリンピック協議会やその他の諸スポーツ団体、連邦および州政府などが一体となつて、ゲーム・プランという選手強化計画をたてた。東京大会のボートで優勝したロジャー・ジャクソン氏（の



ちに、体育と生理学で博士号を取得、またカナダのスポーツの栄誉殿堂に加えられている）などを中心に強化計画が進められ、各選手がその能力に応じて組分けされてきたほか、いろいろな大会で訓練を積み重ねてきた。

カナダが得意とするのは、元来、冬季のスポーツであるが、こうした強化訓練もあって、昨年の世界学生競技大会（ローマ）では金メダル一

個、銀メダル五個、銅メダル一個を獲得したし、パン・アメリカン競技大会では九十一個のメダルを得ている。さてモン



トリオールでは何個とれるか——。

◀ダイアン・ジョーンズ(陸上) スティフィン・ビッケル(水泳)▶